

平成 27 年度 実績

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

兵庫県立こども発達支援センター

平成 27 年度 実績

1 診療実績

(1) 事前協議

受診希望者について市町窓口事前協議を実施し利用申込書を受け取る。(詳細は「利用の手引き」参照)

<月別事前協議件数>

	27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	計
件数	22	17	43	41	30	28	28	24	26	22	9	25	315

※受診の有無に関わらず全件を掲載

<事前協議から初診までの日数>

日数	件数
～30日まで	5
30～60日	5
61～70日	13
71～80日	54
81～90日	87
91日～100日	47
101～110日	28
111～120日	30
120日以上	30
計	299

平成 26 年度は、～30 日までの件数は 76 件、30～60 日の件数は 86 件であった。昨年度と比較すると、初診までにかかる日数が長くなっている。

(2) 利用患者数

	27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	計
初診数	27	24	29	30	28	27	30	26	28	16	16	18	299
再診数	209	212	256	272	258	246	263	252	249	258	250	310	3,035
利用延数	236	236	285	302	286	273	293	278	277	274	266	328	3,334

(3) 初診患者内訳

初診患者に関する属性は下記の通りである。

<初診時年齢>

年齢	患者数
0歳	0
1歳	2
2歳	21
3歳	60
4歳	42
5歳	49
6歳	30
7歳	20
8歳	20
9歳	20
10歳	11
11歳	13
12歳	3
13歳	4
14歳	4
15歳以上	0
計	299

<性別>

性別	患者数
男性	225
女性	74
計	299

<受診の目的>

受診の目的	患者数
診断を受けたい	131
療育を受けたい	31
診断と療育を受けたい	110
気になる症状がある	3
セカンドオピニオン	7
その他	17
計	299

<紹介市町>

市町	患者数
神戸市	13
姫路市	1
尼崎市	3
明石市	145
西宮市	0
洲本市	2
芦屋市	0
伊丹市	1
相生市	0
豊岡市	0
加古川市	44
たつの市	3
宝塚市	0
三木市	25
高砂市	16
川西市	2
小野市	8
加西市	0
篠山市	0
丹波市	0
南あわじ市	0
朝来市	0
淡路市	1
宍粟市	0
加東市	0
猪名川町	0
多可町	1
稲美町	13
播磨町	19
福崎町	2
太子町	0
上郡町	0
計	299

< 診断 >

発達障害に関連する主たる診断名

(ICD-10 による分類)

疾患名	患者数	
PDD	46	15.4%
PDD+ADHD	12	4.0%
PDD+LD	4	1.3%
PDD+MR	36	12.0%
PDD+その他	30	10.0%
ADHD	10	3.3%
ADHD+LD	4	1.3%
ADHD+その他	2	0.7%
LD	8	2.7%
MR	57	19.1%
MR+その他	3	1.0%
その他	85	28.4%
評価中・未診断	2	0.7%
計	299	100.0%

※PDD：広汎性発達障害 (F84)

ADHD：注意欠陥多動性障害 (F90)

LD：学習能力の特異的発達障害 (F81)

MR：知的障害 (F70-74)

診断名が複数ある患者 99名 33.1%

知的障害の有無 (境界知能含む)

	患者数	
あり	127	42.5%
なし	172	57.5%
計	299	100.0%

「その他」の内訳 (重複あり)

	患者数
境界知能	77
不安障害	1
身体表現性障害	1
構音障害	1
表出性言語障害	3
言語発達遅滞	7
緘黙	2
睡眠障害	3
協調運動障害	4
衝動性	3
不登校	4
自傷	1
多動	2
逸脱行為	2
運動機能障害	1
不注意	1
自閉傾向	1
診断保留	16
定型発達	10

従たる診断名（ICD-10による分類）

基礎疾患等（重複あり：保護者から申告のあったものに限る）

分類		患者数
C64-C68	腎尿路の悪性新生物	1
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1
E00-E90	内分泌、栄養および代謝疾患	4
G00-G99	神経系の疾患	4
	てんかん：1 脳性麻痺：2 その他：1	
H00-H59	眼および付属器の疾患	11
	弱視：6 その他：5	
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	5
	中耳炎：5	
J00-J99	呼吸器系の疾患	20
K00-K93	消化器系の疾患	2
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	12
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	4
O00-O99	妊娠、分娩および産褥	1
P00-P96	周産期に発生した病態	25
	超低出産体重児：1 極低出産体重児：2 低出生体重児：11 その他：11	
Q00-Q99	先天奇形、変形および染色体異常	17
	心室中隔欠損症：3 停留精巣：2 ダウン症候群：1 その他：11	
R00-R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12
	けいれん：11 その他：1	
S00-T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	5

(4) 保育実績

初めてセンターを訪れたこどもにまず保育士が出迎え、診察に同席し、こどもと個別で遊びながらこどもの特性を確認するために行動観察を行う。また、個別療育や集団コミュニケーション療法（別掲）では、各療法士と協働または保育単独で、こどもに合わせた遊びを工夫し発達を促す。

<診療>

	27年										28年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
初診陪席	25	24	29	30	26	27	26	25	26	16	15	18	287	
再診陪席	33	37	47	37	45	22	24	14	31	22	21	23	356	
計	58	61	76	67	71	49	50	39	57	38	36	41	643	

<療育>

	27年										28年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
作業+保育	1	1	3	2	2	1	2	2	2	1	3	3	23	
言語+保育	1	1	1	1	2	2	3	3	1	3	2	2	22	
保育のみ	4	3	4	6	5	4	6	4	7	7	4	8	62	
計	6	5	8	9	9	7	11	9	10	11	9	13	107	

(5) 心理実績

臨床心理士が心理検査を行い、こどもの発達の段階を客観的に確認し、支援の参考にする。面談では、具体的な対処法についてや、こどもの特性に対する理解を深めるために、本人や保護者と話し合う。また、必要に応じて、地域の園や学校と連携し、情報を共有してこどもへのバックアップを行う。

<心理検査数>

	27年										28年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
心理検査数	14	13	25	23	17	18	23	26	18	22	26	20	245	

初診患者が発達検査を他機関で過去1年以内に実施済みである場合は、他機関で実施した検査を参考に当センター初診・再診時に陪席して行動観察を行い、評価を実施する。

<心理検査内訳>

		27年										28年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
発達	対面式	K式	9	7	17	17	9	14	13	14	9	15	15	15	154
		WISC	5	5	4	6	6	4	10	11	9	6	9	4	79
		その他													0
	質問紙	津守					1						1		2
		その他		1	4		1					1	1	1	9
人格														0	
その他									1					1	
計		14	13	25	23	17	18	23	26	18	22	26	20	245	

<再検査>

		27年										28年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
K式		2	2	1	3	6	7	6	3	2	1	5	4	42	
WISC					1	3	1	1	3		1	1		11	
その他			1			1								2	
再検査計		2	3	1	4	10	8	7	6	2	2	6	4	55	
心理検査計		14	13	25	23	17	18	23	26	18	22	26	20	245	

診療開始から1年が経過した平成25年度から、再検査を必要とする患者には半年～1年程度の期間を開けて再度、心理検査を実施した。

<心理検査以外>

		27年										28年			延人数	実人数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
診察陪席		32	33	30	24	30	18	10	15	28	23	27	39	309	253	
子ども支援	おしゃべり	2	2		2	2	2	3	1	3		1	2	20	7	
	他			2		1		1						4	4	
保護者支援	面接	1			2	1	3		1	2	1		2	13	9	
	電話	10	7	13	6	6	17	11	11	10	13	5	11	120	74	
地域連携	電話	26	16	25	12	10	19	20	16	19	4	2	12	181	118	
	会議						1							1	1	

(6) 療育実績（言語聴覚療法・作業療法）

言語聴覚士（以下 ST）、作業療法士（以下 OT）は、年齢や障害の程度、ニーズなどに対応した個別のリハビリテーションプログラムに基づいて、療育を提供している。治療時間と頻度は、対象者の障害状況や年齢、家庭の状況などを配慮して設定される。こどもの持つ機能や能力を伸ばすための直接的な関わりに加え、保護者に対しては、こどもの特性の理解を深めたり日常生活での具体的な対応を助言している。

①言語聴覚療法

初回評価では、国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、質問-応答関係検査、学齢版言語・コミュニケーション発達スケール（LCSA）などの言語検査を実施し、こどもの言語能力とコミュニケーション力の評価を行っている。読み書きの苦手な児童には、小学生の読み書きスクリーニング検査を実施することもある。検査に乗りにくい乳幼児や検査の対象年齢を超えている児童には、あそびや会話を通して行動観察を行い、コミュニケーションスキルを評価している。

個別療育では、個々の課題に合わせたプログラムにより療育を実施している。主に、絵カードを用いた言語理解と表出を促す課題や、他者との関係を保ちながらコミュニケーション力を育むプレイセラピーを行っている。センターでの療育場面だけでなく、家庭や園でも取り組める課題や関わりの助言を積極的に行っている。

	27年									28年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
初回評価件数	18	20	23	26	21	22	22	19	18	24	22	31	266
療育件数	66	64	68	73	59	66	70	56	52	62	54	58	748
合計	84	84	91	99	80	88	92	75	70	86	76	89	1014

②集団コミュニケーション療法

就学を控えた5歳児を対象に、こどもの困りごとによりクラスを編成し、STと保育士が担当して活動を行っている。集団コミュニケーション療法はそれぞれ1単位20分、1回の活動につき3単位で実施している。

目 的：小集団の中で同年代のこどもと一緒に活動することで、園や学校など集団場面で抱える問題点について評価する。また、活動を通して、他者に伝えることや尋ねること、他者と協力することなどを経験し、社会性の向上を図る。

期 間 ・ 回 数：こども1人ひとり個別に設定 概ね6回程度

頻 度 ・ 実 施 時 間：月1回、水曜日 14:30～15:30

構 成 人 数：3～5名

内 容：自己紹介、自由会話、着席活動、ルールのあるゲーム、共同制作

担 当 職 種：言語聴覚士、保育士

	27年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年			
集団療育件数	3	3	5	4	5	5	6	8	9	7	7	6	68

③作業療法

初回評価では、日本感覚インベントリー（JSI-R）、日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査（JMAP）、フロスティック視知覚発達検査、感覚処理・行為機能検査（JPAN）、機能的自立度評価表（WeeFIM）などを用いて、こどもの運動、感覚、生活動作を評価する。

運動は、歩く・座るなどの姿勢と運動、手の使い方、スキップや縄跳びなどの協調運動、運動企画、ボディーイメージについて、感覚は、感覚の処理能力と知覚・認知能力について、生活スキルは、着替えや排せつなどの生活動作を確認しながら、問題がある場合はその原因を明確にし、対応を検討する。

療育では、評価をもとに目標とプログラムを立案し、こどもへのセラピーだけでなく、生活環境や活動への介入を行う。

	27年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年			
初回評価件数	18	18	23	25	22	21	19	20	18	21	20	30	255
療育件数	45	42	56	59	58	66	68	61	61	58	53	75	702
合計	63	60	79	84	80	87	87	81	79	79	73	105	957

2 事業実績

(1) 出張発達健康相談

センターへの来所が困難で、医師による発達障害の診断・療育をうける機会が少ない地域に、センターの職員が出向き、児童の発達にかかる健康相談を実施する。

①対象者：乳幼児から概ね15歳までの児童で、発達障害の疑いがある者、又は発達障害と診断された者で、発達、情緒・行動面等の問題において課題を抱えている者

②対象地域：県内全域

③事業内容：相談及びカウンセリングの実施

④派遣職種：医師、臨床心理士（以下 心理士）、保育士等

⑤実施方法：市町からの要望を集約し、市町と協議のうえ年間出張計画を策定し、実施
(費用は無料)

実施日	市町名	相談者数	派遣職種
27年 6月5日	南あわじ市	1名	医師、心理士、保育士
7月3日	たつの市	4名	医師、心理士、保育士
9月9日	西脇市	4名	医師、心理士、保育士
9月25日	小野市	2名	医師、心理士、保育士
10月9日	三田市	3名	医師、心理士、保育士
10月30日	朝来市	1名	医師、心理士、保育士
11月13日	豊岡市	3名	医師、心理士、保育士
11月27日	佐用町	2名	医師、心理士、保育士
28年 1月15日	豊岡市	3名	医師、心理士、保育士
2月5日	三木市	2名	医師、心理士、保育士
2月24日	たつの市	3名	医師、心理士、保育士
3月26日	小野市	1名	医師、心理士、保育士
9市町(12回)		29名	

(2) 派遣発達支援（療育体制づくりの支援）

市町の要請に基づき、市町の療育体制を新しく整備する場合や現在の体制をより充実させる場合に、その計画や内容に対する助言等を行うため、センター職員を各市町に派遣し、療育体制づくりを支援する。

①対象地域：県内全域

②事業内容：市町の療育体制づくりへの支援、核となる支援機関への支援、派遣支援後の定期的なフォローアップ

③派遣職種：臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等

④実施方法：派遣を希望する市町から協議を受け、契約を締結のうえ派遣

実施日	市町名	派遣職種
27年 6月 2日	たつの市	ST
27年 8月 7日	三木市	OT
27年 9月 9日	福崎町	ST
27年 10月 23日	養父市	OT
27年 11月 11日	福崎町	ST
27年 12月 2日	宍粟市	ST

(3) 研修・情報提供等

こどもが成長発達する過程に携わる保健師や保育士、支援過程で関わる専門職の心理士、言語聴覚士等、支援者のスキルアップのため、センターの職員や外部専門家の特色を活かした研修を企画実施した。

①内 容：講義、実地研修

②対象者：保健師、保育士、支援員、心理士、ST、OT 等

③講 師：こども発達支援センター職員、その他必要に応じ外部講師

④経 費：受講者負担（こども発達支援センターの研修受講料等徴収要領による）

<基礎研修>

実施日	テーマ・内容	講師	参加者	場所	
27年 6月12日	[講義] 発達障害の基礎知識	保育士、心理士	28名	センター	
6月18日	[実地研修] 療育場面見学 ふりかえり	保育士、ST	4名		
7月16日		保育士、OT	4名		
8月27日		心理士、ST	3名		
9月10日		保育士、OT	3名		
9月24日		心理士、ST	3名		
10月 8日		心理士、OT	4名		
10月 4日		[講義] 発達障害の基礎知識	保育士、心理士		31名
10月22日		[実地研修] 療育場面見学 ふりかえり	保育士、ST		3名
11月 5日	心理士、OT		5名		
11月19日	保育士、ST		4名		
12月 3日	心理士、OT		3名		
12月17日	保育士、OT		4名		
28年 1月14日	心理士、ST		5名		

<スキルアップ研修>

実施日	テーマ・内容	講師	参加者	場所
27年 7月10日	発達障害のあるこどもが幼児期に身につけたいこと	医師、保育士、 心理士	32名	センター
8月12日	検査や評価から見えるこどもの姿 ～結果を支援に活かすために～	ST、心理士	39名	センター
8月21日	「こどもの発達と障害 ～こどもへの関わりを理解するために～」 講師：兵庫県立清水が丘学園 参事兼治療課長 塩見守氏		37名	センター
12月11日	不器用さのあるこどもの運動と遊び	OT、保育士	36名	センター
28年 1月29日	「子育てを支える療育 ～“医療モデル”から“生活モデル”への転換を～」 講師：姫路市総合福祉通園センター 所長・小児科医 宮田広善氏		103名	明石市生涯 学習センター 子午線ホール
2月17日	読み書きにつまずきのあるこどもの支援	ST、OT	37名	センター

<発達障害サポーター養成講座（児童期）>

ひょうご発達障害者支援センターの事業に参画して実施した。

実施日	テーマ・内容	講師	参加者	場所
27年 7月2日	療育場面見学・ふりかえり	ST、心理士	9名	センター
8月13日		OT、保育士	7名	

<講師派遣その他>

年月日	テーマ・内容	講師	研修会名
28年 1月19日	子どもたちを地域で支える ～発達障害の理解と対応～	センター長	中央こども家庭センター 平成27年度中央地区主任児童 委員等連携事業

<広報活動等>

情報提供としてインターネットホームページ (<http://hwc.or.jp/kodomohattatsu/>) の更新等により、発達障害について情報を発信するとともに、相談窓口の紹介を行う。

(4) 市町連携強化事業

兵庫県の委託により、センターと市町担当部署との連携を強化するため、地域別に市町及び関係機関との連絡会を開催した。

実施日	テーマ・内容	参加者	場所
27年 5月29日	・中播磨・西播磨・但馬ブロック対象 ・各市町より発達障害のあるこどもに対する支援体制の報告	市町、 こども家庭センター、 健康福祉事務所、 ひょうご発達障害者支援センター・各ブランチ	じばさん びる
28年 2月12日	・センター実績報告 ・提言 「障害児施策の今後の展望」 関西福祉大学 谷口泰司氏		ラッセホール

(5) 教育連携

①特別支援教育センター研修

実施日	テーマ・内容	講師	研修会名
27年 8月19日	早期療育、発達相談の現状と関係機関との連携	センター長	県立特別支援教育センター 平成27年度専門研修306
28年 1月19日	発達障害の理解と対応	センター長	県立特別支援教育センター 平成27年度県立特別支援学校 初任者研修校外研修

②高砂市特別支援教育専門家チーム委員会

(6) 市町助言

実施日	市町	テーマ・内容
27年 6月3日	尼崎市	・保健師研修 「発達障害の理解と乳幼児健診における発達障害のスクリーニングから早期支援について」 ・地域連携 「発達障害児の早期発見・早期支援 ライフステージに応じた支援体制」
27年 6月11日 9月17日 10月22日 11月12日 12月10日	たつの市	5歳児発達相談事業事前検討会 5歳児発達相談の診察及び処遇検討の助言

(7) その他

①実習生の受入

学校名	実習内容	人数	時期	実習時間
兵庫医療大学	OT 基礎臨床実習	2名	平成28年2月	2日間
神戸医療福祉専門学校三田校	ST 体験実習	1名	平成27年9月	3週間
神戸総合医療専門学校	ST 臨床実習	1名	平成28年2月	5日間

②見学研修の受入

行政関係	1名	教育関係	3名
医療関係	3名	福祉関係	10名
		計	17名

3 業績（学会・研究等）

(1) 著書・論文

- ①Shuichi Shimakawa*, Takuya Tanabe, Masae Ono, Michiko Nonaka, Mitsuhiko Nanbu, Tohru Shinohara, Toshiya Nishikubo, Miho Fukui, Shohei Nomura, Kohji Azumagawa, Hiroshi Tamai : Incidence rate of febrile seizure in Down syndrome.
Pediatrics International, 57 (4) , 670-672, 2015
- ②太田秀紀 : 乳幼児健診を活用した自閉症スペクトラム障害児早期発見の試み.
子の心とからだ, 24(1), 16-22, 2015

<参考資料>

平成 27 年度：市町・圏域別センター利用状況（1）

圏域	市町	初診患者	%	圏域別	%
神戸	神戸市	13	4.3%	13	4.3%
東播磨	明石市	145	48.5%	237	79.3%
	加古川市	44	14.7%		
	高砂市	16	5.4%		
	稲美町	13	4.3%		
	播磨町	19	6.4%		
北播磨	西脇市			34	11.4%
	三木市	25	8.4%		
	小野市	8	2.7%		
	加西市				
	加東市				
	多可町	1	0.3%		
中播磨	姫路市	1	0.3%	3	1.0%
	神河町				
	市川町				
	福崎町	2	0.7%		
西播磨	相生市			3	1.0%
	たつの市	3	1.0%		
	赤穂市				
	宍粟市				
	太子町				
	上郡町				
	佐用町				
淡路	洲本市	2	0.7%	3	1.0%
	南あわじ市				
	淡路市	1	0.3%		
阪神北	伊丹市	1	0.3%	3	1.0%
	宝塚市				
	川西市	2	0.7%		
	三田市				
	猪名川町				
阪神南	尼崎市	3	1.0%	3	1.0%
	西宮市				
	芦屋市				
丹波	篠山市				0%
	丹波市				
但馬	豊岡市				0%
	養父市				
	朝来市				
	香美町				
	新温泉町				
		299	(100%)	299	(100%)

平成 27 年度：市町・圏域別センター利用状況（2）

圏域	市町	診療	研修	出張発達	派遣発達
神戸	神戸市	○	○		
東播磨	明石市	○	○		
	加古川市	○	○		
	高砂市	○	○		
	稲美町	○	○		
	播磨町	○	○		
北播磨	西脇市			○	
	三木市	○	○	○	○
	小野市	○	○	○	
	加西市		○		
	加東市		○		
	多可町	○	○		
中播磨	姫路市	○	○		
	神河町		○		
	市川町				
	福崎町	○	○		○
西播磨	相生市		○		
	たつの市	○	○	○	○
	赤穂市		○		
	宍粟市				○
	太子町		○		
	上郡町		○		
	佐用町		○	○	
淡路	洲本市	○	○		
	南あわじ市		○	○	
	淡路市	○	○		
阪神北	伊丹市	○	○		
	宝塚市		○		
	川西市	○	○		
	三田市			○	
	猪名川町	○			
阪神南	尼崎市	○	○		
	西宮市		○		
	芦屋市		○		
丹波	篠山市		○		
	丹波市		○		
但馬	豊岡市		○	○	
	養父市		○		○
	朝来市		○	○	
	香美町				
	新温泉町				
		17 市町	34 市町	9 市町	5 市町

市町・圏域別センター利用状況（開設からの延べ累計）

圏域	市町	診療	研修	出張発達	派遣発達
神戸	神戸市	○	○		
東播磨	明石市	○	○		
	加古川市	○	○		
	高砂市	○	○		
	稲美町	○	○		
	播磨町	○	○		
北播磨	西脇市		○	○	
	三木市	○	○	○	○
	小野市	○	○	○	
	加西市	○	○		
	加東市	○	○	○	
	多可町	○	○		
中播磨	姫路市	○	○		
	神河町		○	○	
	市川町		○		
	福崎町	○	○		○
西播磨	相生市	○	○		
	たつの市	○	○	○	○
	赤穂市		○		
	宍粟市	○	○		○
	太子町	○	○		
	上郡町	○	○		
	佐用町		○	○	
淡路	洲本市	○	○		
	南あわじ市	○	○	○	
	淡路市	○	○	○	
阪神北	伊丹市	○	○		
	宝塚市	○	○		
	川西市	○	○		
	三田市	○	○	○	
	猪名川町	○			
阪神南	尼崎市	○	○		
	西宮市	○	○		
	芦屋市	○	○		○
丹波	篠山市	○	○	○	
	丹波市	○	○	○	
但馬	豊岡市	○	○	○	
	養父市		○		○
	朝来市	○	○	○	
	香美町		○		
	新温泉町				○
		33 市町	39 市町	14 市町	7 市町